

**安全上の注意事項**

- 取扱説明書をよく読み、装置の設置場所に保管してください。
- 付属のドキュメントと接続する装置の取扱説明書に注意してください。
- この取扱説明書の安全上の注意事項を読み、順守してください。
- 取付けおよび操作の際は、装置のデータに注意してください。
- 装置は、規定に沿った本来の目的にのみ使用してください。
- 動作条件がテクニカルデータと異なる場合は、R.STAHL Schaltgeräte GmbH社まで必ずご連絡ください。
- 不正または不適切な使用並びに本取扱説明書に従わない使い方によって生じた損害について、一切の責任を負わないものとします。
- 装置での作業 (設置、整備、メンテナンス、トラブルシューティング) は、訓練を受けた認定スタッフのみ実施することができます。
- 該当国の取付規定および設置規制が適用されます (IEC/EN 60079-14等)。
- 装置は、ゾーン2、22または爆発性雰囲気外で取り付けます。
- ゾーン2、22で使用する場合は、本質安全信号回路にゾーン0、20 およびゾーン1、21の本質安全装置を接続することができます。
- 安全な動作のためには、装置をPE(等電位ボンディング)に接続する必要があります (DINレールまたは装置のPE端子経由)。
- 装置の接続により、接続された回路は一端が接地となります。ゾーン0の本質安全回路を接続するには、特にIEC/EN 60079-14の要件に注意してください。
- 別個の接地端子を介してDINレールを等電位ボンディングに接続します。装置のPE端子は、等電位ボンディングへのDINレール接続には適していません。
- ゾーン0の特別な要件であるため、装置のPE端子を介して装置を等電位ボンディングに接続することを推奨します。
- この装置は、AC 253 V (50 Hz) 以上の電圧を有さない機器にのみ接続してください。
- 接続端子には、最大1.5 mm<sup>2</sup> (フレキシブル/硬質) の断面を有するワイヤを接続することができます。締付トルクは0.4~0.5 Nmです。
- 2つのPE端子には、最大4 mm<sup>2</sup> (フレキシブル/硬質) の断面を有するワイヤを接続することができます。締付トルクは1.2~1.5 Nmです。接続は許可されています。
- 接続されているフィールド機器の安全値は、データシートまたはEC/EUタイプ検査証明書の仕様と一致している必要があります。
- 本質安全回路で複数のアクティブ機器を相互接続すると、他の安全値をもたらすことがあります。これは、本質安全を危険にさらすおそれがあります!
- 装置タイプ 9002/22-032-300-111では、本質安全 RS 485インタフェースの接続はポイントツーポイントアプリケーションにのみ許可されています。本質安全フィールドバスシステム RS 485-ISへの接続は許可されていません。
- 装置の変更や修正は許可されていません。
- 装置は、損傷なしで乾燥した清潔な状態でのみ取付けおよび操作することができます。
- 装置は、クラスI、ディビジョン2、グループA、B、CおよびD、または爆発性雰囲気外で取り付けます。
- 装置は、設置場所の各要件を満たすハウジング内に設置する必要があります (IEC60079-0、NEC504等)。
- 警告 - 爆発の危険 - 電源がオフになっているか、または装置が爆発性雰囲気外で取り付けられている場合のみヒューズを交換してください。



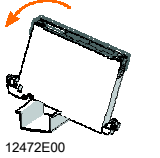

ヒューズはオリジナルパーツに対してのみ交換してください (注文番号: 158964)。

**マーキング**

有効なマーキングは EC 適合宣言および安全バリア上の説明を参照してください。

**取付けと取外し**

この装置は IEC/EN 60715 に準拠した DIN レールにのみ取り付けます。

 <p>12472E00</p>	<p>装置を DIN レールに当てがいます。ハウジングの凹部は DIN レールの外縁に配置する必要があります。</p> <p>装置を DIN レールにスナップ留めます。</p> <p>デバイスを DIN レール上で動かす際は、傾かないように注意してください。</p> <p>装置がしっかりと固定されているか確認してください。必要に応じてベースボルト領域の装置を軽く押します。</p>
 <p>12471E00</p>	<p>ドライバーでベースボルトを少し引き出します。</p> <p>装置を外します。</p>

**サービスとメンテナンス**

点検の種類や程度については関連する国内法を参照してください。点検間隔を動作条件に適合させます。装置をメンテナンスする場合は少なくとも次の点を確認してください:

- ケーブルがしっかりとクランプ固定されている
- 装置が DIN レールにしっかりと固定されている
- 装置ハウジングや保護ハウジングに亀裂やその他の目に見える損傷がないこと
- 許容周囲温度を順守している
- 指定された用途に応じて装置を使用している。

高電圧または誤った極性接続で動作すると、交換可能なヒューズが飛び、内部回路が保護されます。

安全バリアはメンテナンスフリーです。

**修理**

装置の修理は、R.STAHL Schaltgeräte GmbH 社にのみ行わせてください。

**ドキュメンテーション**

詳細については、それぞれの現在のデータシートと証明書を参照してください。ドキュメントはインターネットの [www.stahl.de](http://www.stahl.de) で利用可能です。